

地域医療の核となる病院再整備

基本計画策定委員会で、肝属郡医師会立病院の移転建設予定地決まる

1981年の開設から40年。老朽化が進み毎年多額の改修費を要するうえ土砂災害警戒区域にも指定。早急な移転建替えが求められていた肝属郡医師会立病院の建設予定地が先月22日ついに決定しました。要望書提出から約3年。私たちの暮らしに欠かすことのできない地域医療拠点についてお伝えします。

肝属郡医師会立病院の移転先が南部消防署近くの民有地に決定

肝属郡医師会立病院の再整備に向けて今年6月に立ち上げた基本計画策定委員会は先月22日、移転建設予定地を南部消防署付近の民有地約1万5千700㎡に決定しました。南隅地域の医療拠点を担い、地域で唯一の入院施設を有する病院として重要な役割を果たす一方で、建築後40年が経過し、施設の老朽化による多額の改修費は直近7年間で3億円を超える状況。さらに土砂災害警戒区域にも指定される立地環境は、災害にも弱いことから早急な移転建替えが課題となっています。

2018年1月、肝属郡医師会から錦江町と南大隅町に移転建替えに関する要望書が提出されて約3年。座談会や病院見学ツアーを経て今年3月に基本構想が作成されました。その構想を基に新病院の建設地や施設規模、目指すべき病院像を検討する基本計画策定委員会がスタート。6月の初会合で両町に建設候補地を提示するよう求めていました。

基本計画策定に向け大きく前進 提示された3候補地から決まる

建設予定地の選定に向け両町から出された候補地は3か所。錦江町から南部消防署付近と、県土木事務所

跡地付近の民有地2か所が、南大隅町から旧根占中学校跡地がそれぞれ候補地として提示されました。南部消防署付近の候補地は国道に面した整形地で災害の危険性も少なく、指定避難所に近いため防災上も有利。現状が畑地であることから地盤沈下対策は必須との意見が出されました。県土木事務所跡地は国道沿いで広さは確保できるが道路で分断されるなど敷地形状の悪さを指摘。旧根占中学校跡地はすべて町有地で用地取得の必要がない一方、一部に土砂災害警戒区域を含むことから病院建設には不向きとの意見が出されました。そのほか交通や緊急車両のアクセス、周辺環境、候補地までの



現在地は土石流危険渓流や急傾斜地の崩壊特別警戒区域などに指定されているため今回の候補地からは除外された。

●肝属郡医師会立病院（肝属郡錦江町神川135-3）
1981年開設。地上4階建、病床数196床、診療科12科（内科、脳神経内科、外科、泌尿器科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、肝臓内科、血液内科、消化器内科、整形外科、眼科）

所要時間などさまざまな視点から総合的に判断し、南部消防署付近の民有地を建設予定地に決定。移転再整備に向けて大きく前進しました。今後は地質調査や用地取得に向けた交渉を進め、新病院の機能や規模、役割や方針をまとめた素案を年内に作成し住民説明会で情報を共有。私たちの地域に本当に必要な医療と介護の姿を見据え、意見を交わし集約することで、地域医療拠点の再整備に向けた基本計画に反映させます。

両町から移転先として提示された3つの候補地

候補地①…南部消防署付近
錦江町城元 面積15,768㎡
国道269号線に面し、バス路線は9路線で1日23便。すべて民有地で用地取得や地盤改良、造成などが必要。



候補地②…土木事務所跡付近
錦江町馬場 面積15,556㎡
土木事務所跡地は町有地でそれ以外は民有地。敷地内に道路があり不整形で高低差も大きい。国道に面している。



候補地③…根占中学校跡地
南大隅町根占 面積16,778㎡
町有地だが校舎の解体が必要。敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定されている。国道から300m 離れバスは1日7便。

2018.1.22 移転建替の要望書を受理

2018.8.31 医療介護の姿検討委員会



要望を受け検討委員会を発足。委員19名で構成し状況報告が行われた。

2018.9～ 町内7会場で座談会開催



病院の現状を伝え情報共有と意見交換を目的に両町とも座談会を開催。

2018.12.8 病院施設見学ツアー開催



老朽化した病院を見学し説明を受けた参加者。見学後は意見交換会開催。

2019.9.1 医療介護の姿シンポジウム

「南隅地域の医療や介護のあり方を考えるシンポジウム」を開催し300人以上が参加した。

2020.7 基本構想の策定を業務委託

(株)アイテック（東京）と基本構想策定に係る業務委託契約を締結し今年3月に作成された。

2021.6.24 基本計画策定委員会発足



基本構想を基に病院再整備基本計画を策定する委員会を立ち上げ委員15名を委嘱した。

2021.9.22 新病院の建設予定地決定



3候補地から建設予定地を選定。年度内の基本計画策定を目指し今後も協議を進めていく。

2022年 素案作成後に住民説明会開催